

授業科目名	動物形態機能学 I	科目コード	2301001		
開講クラス	動物看護師科	コース	動物看護師コース	学 年	1年
担当教員	猪野亜里沙				
	実務経験教員 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 ) 実務経験内容 ペット栄養管理士 臨床栄養指導認定動物看護師1級 大学卒業後約1年間動物園で勤務 認定動物看護師の受験経験を活かし、また動物園での動物飼育、看護方法を授業に取り入れている				
開講時期	前期・後期・ <input checked="" type="checkbox"/> 通年 ・ 特別講義 ・ その他		授業コマ数	62 時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	2 単位	
使 用 テキスト 1	書 名	愛玩動物看護師の教科書 1 基礎動物学			
	著 者	緑書房編集部			
	出版社	株式会社 緑書房			
使 用 テキスト 2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書	ビジュアルで学ぶ伴侶動物解剖生理学、小動物臨床のための機能形態学入門 改訂版				
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ( )				
<p>&lt;授業の目的・目標&gt;</p> <p>体の構造と機能を知り、疾病の成り立ちと回復の促進に寄与するため、動物医療に必要な専門知識を学び動物看護に活かす。また、人と動物が調和して暮らせるよう健康管理と維持に必要な知識を習得した人材育成を目指す。</p>					
<p>&lt;授業の概要・授業方針&gt;</p> <p>筋・骨格系から消化器、循環器系など、それぞれの組織の構造と名称、主たる機能について学習する。解剖学的な用語は難しいものが多いが、獣医師からの説明に多くの解剖用語が出てきても理解できるようにする。また、2年次に学習する疾病学や薬理学なども形態機能学の知識が必要となってくるため、1年次に基礎的な知識を身につけさせる。</p>					
<p>&lt;成績基準・評価基準&gt;</p> <p>前期と後期に優・良・可・不可の成績基準を設定する。評価の基準は筆記試験によるものとし、本科目の出席率が80%以上なければ本試験が受験できない。本試験における点数が80~100点を優、70~79点を良、60~69点を可とし、60点未満は追試とする。また、出席率が80%未満の場合も追試となり、80%を満たすまでの時間数の課題に取り組んだのちに追試験を受けることができる。追試においては60~100点を可とする。追試にて60点未満の場合は不可となる。通年の評価は、前期と後期の本試験の点数の平均を算出し、その平均点が80~100点を優、70~79点を良、60~69点を可とする。</p>					
<p>&lt;使用問題集・注意事項&gt;</p>					

<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他>

授業科目名		動物形態機能学Ⅰ
2h/回	授 業 内 容	
		備 考
1	解剖生理学とは・学習目標・生体各部の名称	
2	生命のすがた(体の基本構造、細胞)	
3	生命のすがた(細胞小器官とは、細胞小器官のはたらき)	
4	生命のすがた(組織、体腔)	
5	運動器(骨格系とは、基本構造)	
6	運動器(関節、筋系)	
7	血液と造血器(血液とその成分)	
8	血液と造血器(血液凝固)	
9	消化器系と栄養代謝(消化器系の役割と構造)	
10	消化器系と栄養代謝(消化器系の入口、上部消化管)	
11	消化器系と栄養代謝(下部消化管、消化器管の出口)	
12	消化器系と栄養代謝(消化腺、消化管運動)	
13	消化器系と栄養代謝(栄養素の消化と吸収)	
14	消化器系と栄養代謝(代謝、動物種による違い)	
15	前期まとめ	
16	脳と神経(中枢神経系)	
17	脳と神経(末梢神経系)	
18	皮膚と感覚器(皮膚の基本構造・付属器)	
19	皮膚と感覚器(熱産生・体温調節、皮膚感覚)	
20	皮膚と感覚器(皮膚感覚、痛覚)	
21	皮膚と感覚器(感覚器とは)	
22	皮膚と感覚器(視覚器の構造・視覚)	
23	皮膚と感覚器(平衡聴覚器の構造・聴覚)	
24	皮膚と感覚器(嗅覚器、味覚器)	
25	泌尿器系(泌尿器系とは、腎臓)	
26	泌尿器系(尿路、尿)	
27	泌尿器系(体液調節)	
28	内分泌とホルモン(内分泌・ホルモンとは)	
29	内分泌とホルモン(視床下部—下垂体—末梢内分泌系)	
30	内分泌とホルモン(視床下部—下垂体—末梢内分泌系以外)	

31	後期まとめ	
----	-------	--